自治会ニュース
No.40
全学自治会中央執行委員会情宣部 9/28

佐藤訪ベト阻止
10.6 労学一万人集会→8 羽田現地斗争を
自治会共斗=全日学生統一行動を展開しよう!

訪問質問日ベトナムにおける情勢に言及し、戦争の早期平和解決を強く要求するとともに、和平実現のためにすべての当事者が一方的な行為をとらないよう要望した。(9/25毎日夕刊)

日本、アメリカの共同声明の中で佐藤首相はつぎのごとく述べた。しかも、日韓条約をめぐるゴールドバーグ米国特使の「明るい朝夕和平会談」見解と我を同じくしてある。

これらの一連の一再ならずしたベトナム和平の訪問は何を意味するのか?ベトナム戦争を終結する基本的姿勢、即ち米中戦争=朝鮮戦争に通じる危険な軍事的冒険か、それともベトナム人民の独立と築く和平かの二者択一の前にジョンソンがたたされている侵略者のこれらの和平工作は、根本的小という

10.6~8訪ベト阻止斗争を自己和公斗斗へ発展しよう!
10.8羽田現地にクラス代表を派遣しよう!

こうした佐藤訪ベトの侵略外交強化に対して、民主勢力は10.8佐藤訪ベト阻止斗争の具体的にうってたちあがろうとしている。10.6社会党一日共ヨーク総労働二万人集会、10.7原水禁国民会議中央集会、10.8佐藤訪ベト阻止、全国反戦統一行動、10.21全世界の民主勢力、総評を中心とする全国二〇〇万労働者の総決起がそれである。

一昨日、大阪府警運、兵庫県警連は「全国全自治会佐藤訪ベト阻止の警察統一のもとに、各地においてきびいの県境を基盤に、10.7訪ベト阻止中央集会、10.8羽田現地行動に、訪ベト阻止の一点で、一切の組織問題を保留して、全国全自治会佐藤訪問行動を」と

のりだそうとしない態度を示すように以前変わらぬ和平のポーズにすぎない。

佐藤政府の真の意図は何か?

ベトナム訪問を推進しているこのことは、佐藤政府の戦争への加担の道をますます踏み出したということである。即ち、強まるジョンソン政府と協力して、政治的・軍事的な介入を強めつつベトナム戦争に直接介入することであり、帰国後の施政方針演説の基調演説への具体的な足がかりのためのものである。

学友諸君!総評、県労連の呼びかけにこたえ、10.8訪ベト阻止羽田斗争に自治会ぐるみで起とう!我にLIA BC、EIBCD、JIA等のクラスは羽田にクラス代表を派遣するため事日討論カンパを募集している。クラスにおけるベトナム=安保研究会の活発的討議により、佐藤訪ベトのもつ意味をパクロし、10.6大阪労働一万人集会に総学連統一行動で決起し、羽田現地に大衆的動員をかちとろう。そうした中で訪問という困難な状況を突破し、10.8全国反戦統一行動、同じく10.21全学連決起集会と全国200万の労働者と共にたたかう準備を整えよう!